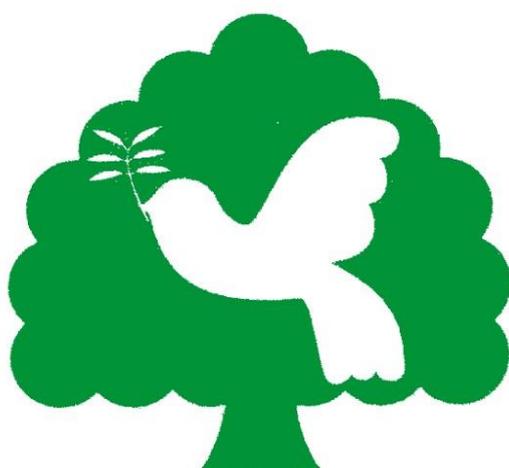


平成29年度
事業報告書



社会福祉法人
千葉アフターケア協会

目 次

はじめに	2
【法人全体の取り組み】	
中長期目標について	3
平成29年度法人目標について	4
【平成29年度業績報告】	4
【役員会等開催報告】	7
【委員会・諸会議実施報告】	8
【職員研修・実習生受け入れ実施報告】	10
事務局	12
<u>障害者支援施設ハピネス浜野</u>	15
生活介護	16
施設入所支援	17
医務室・訓練室	18
短期入所	19
【利用者行事等実施報告】	20
【利用者週間活動実施報告】 【ヒヤリハット・事故報告】	22
【苦情等について】	24
<u>相談支援事業所ハピネス浜野</u>	
計画相談支援・障害児相談支援	24
<u>グループホームセレニテ</u>	
共同生活援助	26
<u>児童通所支援事業ハピネス浜野</u>	28
児童発達支援	29
放課後等デイサービス	30

はじめに

平成 29 年度は、社会福祉法人制度改革に則った法人運営の初年度であったが、事務手続きも滞りなく実行し、新しい理事・評議員の体制で法人運営を開始した。

社会福祉法人における公益的取組として、地域の福祉施設と協力し認知症カフェを開始することができた。

キャリアパス制度を本年度から本運用とし、職員育成に努めた。グループホーム利用者を障害者雇用するなど多様な働き方にも取り組み、さらに職場定着に向けて短時間正職員制度を導入した。

児童通所支援事業においては利用者増のため定員を 1 名増やし 6 名での運営となった。

生活介護では、新規利用契約者も受け入れることができたが、一日の利用定員 60 名に達したこともあり、今年度の収益の大幅な増加は見込めないといえる。また、職員数は最大の人員配置加算まで達することができなかった。

福祉サービスの向上のための虐待防止や介護事故削減に向けた委員会活動、各部署での業務改善など、様々な課題に対し真摯に取り組んだ。

次年度は、職員数の増加、職場定着を図るとともに、地域や障害者から必要とされるサービスを提供できる法人となるよう職員一丸となって取り組む所存である。

【事業報告書において記載されている主な内容】

- ・今年度の目標やサービス方針に対しての報告事項
- ・平成 29 年度当初予算対比の結果
- ・直近 5 年間の利用者の推移
- ・行事等実施報告
- ・事故に関する報告

【役員等総数】 ※平成 30 年 3 月 31 日現在

理 事 6 名

監 事 2 名

評議員 8 名

評議員選任解任委員 4 名（外部委員 2 名）

【職員総数】 ※平成 30 年 3 月 31 日現在

50 名

【法人全体の取り組み】

中長期（平成 27 年度～平成 29 年度）目標について

1. 地域と共にある施設づくり

- ①地域との連携による利用者の安全確保体制の強化
- ②地域住民や利用者家族からの要望に対し誠実に取り組む

[報告事項]

・地域の福祉施設、生浜地区福祉連携会議、千葉市中央区他職種連携会議に参加し、地域連携を深めた。

2. 社会福祉法人の使命の追及

- ①利用者の尊厳を保持し、安心・安全な介護サービスの提供を推進する
- ②利用者の多様なニーズに答えるための事業内容、サービスの充実を図る
- ③地域における障害者福祉の推進に取り組む
- ④第三者評価受審によりサービスの質の向上を目指す

[報告事項]

・介護事故に対して迅速な検証を行い、同じ事故が起きないように対策を講じた。権利擁護、虐待防止に関する研修に参加し、虐待防止委員会において事例検討等を行った。

・児通所支援事業の利用希望が増えていることを踏まえ、定員を1名増員し6名とした。

・利用者それぞれがやりたいことの実現に向かい、サークル活動を充実させ、ハピネス祭で披露することができた。

・千葉県身体障害者施設協議会の活動を通じて、県・市への福祉サービス関連の要望を行った。

3. 働きやすい職場環境の整備

- ①理念と経営感覚を持った経営層を育成する
- ②キャリアパスを運用し職場定着を図る
- ③良好な人間関係と適切な労務管理に取り組む

[報告事項]

・新人事制度（キャリアパス）における本評価開始にあたり、全職員に周知した。

・所属長等研修を実施した。

・短時間正規職員制度を導入し、多様な働き方を提示した。

・採用者 11 名（入職率：27 年度 18/46 39.1% 28 年度 13/56 23.2% 29 年度 11/49 22.4%）

・退職者 9 名（離職率：27 年度 11/46 23.9% 28 年度 16/56 28.6% 29 年度 9/49 18.4%）

4. 新事業（ポート浜野）のマーケティングと事業計画策定

[報告事項]

・社会福祉充実計画をもとに取り組んだが、具体的に進めることができなかった。

平成29年度法人目標について

- ・地域との連携強化と協働体制の推進に取り組む
- ・キャリアパス運用における職能の向上とモデル行動の推進
- ・第三者評価受審にむけて ～権利擁護と虐待防止に取り組む～
- ・15周年（平成30年）記念行事の計画

[報告事項]

- ・千葉市社協生浜地区部会の障害部会の方々がボランティアとして利用者との関わりを深めていただいた。あんしんケアセンター浜野と協力し、認知症カフェ「濱野館」をオープンすることができた。
- ・監督・指導職、経営・管理職9名が人事制度について年間を通して研修を受け、職員育成や職場環境改善に努めた。
- ・新人事制度（キャリアパス）における評価の初年度にあたり、概要（マニュアル）を作成し、全職員へ周知した。法人職員としての考え方や行動の方向性を示す行動要件書により、各部署で毎月1回面談を実施し、自己評価と上司評価を実施した。職能の向上を目指す職能要件書により、技術面を自己評価と上司評価し、次年度の等級決定を実施した。
- ・短時間正規職員制度を導入し、多様な働き方を提示した。正規職員から1名が短時間正職員へ転換を実施した。
- ・グループホームの利用者を環境支援員として雇用し、働く場所を提供することができた。
- ・介護事故に対して迅速な検証を行い、同じ事故が起きないように対策を講じた。権利擁護、虐待防止に関する研修に参加し、虐待防止委員会において事例検討等を行った。
- ・15周年記念行事の日程や概要を決めることができた。

【平成29年度業績報告】

1、事業の経過及びその成果

サービス活動収益について

- ・報酬改定、地域区分の見直しはなかったため、生活介護以外の事業はほぼ当初予算どおりの実績となった。
- ・生活介護において、職員確保が出来ず、人員配置体制加算で最も手厚い1.7:1（利用者:職員）の加算が取れず、2.0:1の加算を算定した。その結果、当初予算から約20,000千円減額補正となった。
- ・児童通所支援事業（児童発達支援・放課後等デイサービス）については、利用ニーズに対応し、平成29年7月より定員を5名から6名に増やした。1人あたりの基本報酬は減額したが、夏休み等の期間中は定員を超える利用があった。
- ・地域生活支援事業（日中一時支援事業）においては、上限額管理のみの対応となり、利用者はいなかった。

補助金・助成金申請について

- ・千葉労働局の職場定着支援助成金 3,000 千円で、老朽化していた昇降式介護浴槽 7,376 千円の買い替えを実施し、介護業務の軽減を図った。
- ・千葉市認知症カフェ設置促進モデル事業補助金として 30 千円の補助金があった。
- ・ハピネス浜野建設時の設備資金借入金返済元金 11,000 千円と利子 545 千円に対して、千葉市から 3/4 額の補助金があった。

支出について

(建物・設備等)

- ・ハピネス浜野 3 階、入所利用者が使用するドラム式洗濯機を 177 千円で入れ替えた。
- ・ハピネス浜野職員通用口の防犯強化のための対応を 620 千円で実施した。
- ・法人内全拠点で使用するサーバーの入替工事をリースで対応した。
- ・法人内全拠点で使用する就業管理システム導入をリースで対応した。

(人件費・事業費・事務費)

	平成 28 年度	平成 29 年度	前年比
人件費率	59.7%	60.5%	+0.8%
事業費率	13.2%	13.9%	+0.7%
事務費率	14.2%	13.3%	△0.9%

(積立金)

- ・長期修繕計画に基づき、修繕積立金をハピネス浜野にて 23,000 千円、グループホームセレニテにて 1,300 千円積み立てた。
- ・グループホームセレニテにて、備品の老朽化対応として備品等積立金 100 千円を積み立てた。

法人全体での予算・実績対比と前年度との比較

- ・資金収支計算書上の決算額については、概ね予算どおりの内容となった。
- ・事業活動計算書について、サービス活動収益は前年と比較して 4,370 千円の減益となった。
- ・今年度の経常増減差額は 27,199 千円となり、黒字だった。

社会福祉充実計画について

- ・職員育成事業の実施については、平成 30 年度より法人内での実務者研修を開講し、職員等が受講できる体制作りを行った。
- ・相談支援事業所の充実に向けて、法人職員 1 名が相談支援従事者研修を受講し、平成 30 年度から相談支援専門員として従事することとした。
- ・ポート浜野における、児童通所支援事業の移転・拡充及びグループホームの開所については、具体的な計画は立てることが出来ず、在籍職員の育成を行うに留まった。

2、予算・決算対比

(単位：千円)

	予 算	決 算	対比 (予算－決算)	
事業活動収入	323,440	322,634	806	(99.8%)
事業活動支出	281,569	281,623	△54	(100.0%)
事業活動資金収支差額	41,871	41,011	860	
施設整備等収入計	11,250	11,250	0	(100.0%)
施設整備等支出計	25,769	21,387	4,382	(83.0%)
施設整備等資金収支差額	△14,519	△10,137	△4,382	
その他の活動収入計	588	526	62	(89.5%)
その他の活動支出計	26,301	26,301	0	(100.0%)
その他の活動資金収支差額	△25,713	△25,775	62	
当期資金収支差額合計	1,639	5,099	△3,460	

3、収支の推移

(単位：千円)

	平成 28 年度	平成 29 年度	対 比	
サービス活動収益	324,373	320,003	△4,370	(98.7%)
サービス活動費用	378,829	292,966	△85,863	(77.3%)
サービス活動外収益	3,365	2,631	△734	(78.2%)
サービス活動外費用	2,580	2,469	△111	(95.7%)
経常増減差額	△53,671	27,199	80,870	
特別収益	14,486	11,250	△3,236	(77.7%)
特別費用	4,860	3,017	△1,843	(62.1%)
特別増減差額	9,626	8,233	△1,393	
当期活動増減差額	△44,045	35,432	△79,477	

4、資産・負債の推移

	平成 28 年度	平成 29 年度	対 比	
流動資産	137,487	93,890	△43,597	(68.3%)
固定資産	1,088,853	1,091,104	2,251	(100.2%)
資産合計	1,226,340	1,184,994	△41,346	(96.6%)
流動負債	74,600	26,706	△47,894	(35.8%)
固定負債	69,036	60,665	△8,371	(87.9%)
負債合計	143,636	87,371	△56,265	(60.8%)
純資産	1,082,704	1,097,623	14,919	(101.4%)

【役員会等開催報告】

1. 監事監査

平成 29 年 5 月 31 日 (水)

平成 28 年度法人経営事業の監査

2. 理事会

第 1 回理事会 平成 29 年 6 月 15 日 (木)

議題 第 1 号議案 理事長、業務執行理事の選定について

第 2 号議案 定時理事会の招集について

第 2 回理事会 平成 29 年 7 月 25 日 (火)

議題 第 1 号議案 就業規則の改正について

第 2 号議案 会社役員賠償責任保険の加入について

第 3 号議案 15 周年記念行事について

第 4 号議案 欠勤の続く職員への対応について

第 3 回理事会 平成 29 年 9 月 26 日 (火)

議題 第 1 号議案 会計業務委託について

第 2 号議案 短時間正社員制度の方向性について

第 4 回理事会 平成 29 年 11 月 29 日 (水)

議題 第 1 号議案 就業管理システム導入について

第 2 号議案 短時間正規職員就業規則の新設について

第 3 号議案 経理規程の改正について

第 5 回理事会 平成 30 年 1 月 31 日 (水)

議題 第 1 号議案 旅費規定と給与規程の改正について

第 2 号議案 平成 30 年度法人事業計画(案)について

第 3 号議案 15 周年記念行事計画(案)について

第 6 回理事会 平成 30 年 3 月 26 日 (月)

議題 第 1 号議案 平成 29 年度 補正予算について

第 2 号議案 平成 30 年度 事業計画、予算について

第 3 号議案 平成 30 年度 役員会等の開催スケジュールについて

第 4 号議案 給与規程、パートタイマー給与規程の改正について

第 5 号議案 法人と弁護士の顧問契約について

3. 評議員会

第1回評議員会 平成29年6月15日(木)

議題 第1号議案 平成28年度事業報告、決算について

第2号議案 社会福祉充実計画について

第3号議案 役員等及び評議員の報酬等支給基準について

第4号議案 理事、監事の選任について

4. 評議員選任・解任委員会

開催なし

【委員会・諸会議実施報告】

①安全衛生委員会 … 職員の安全及び労働衛生に関して必要な事項を協議する

[報告事項]

- ・職員採用にあたり、産業医の意見を求めることができた。また、職員が働き方について産業医に相談できる環境ができた。
- ・職場環境の安全衛生確認として、部署内大掃除を2回、ストレスチェックを1回、産業医とともに施設内巡回を2回実施した。
- ・全職員へ短時間正規職員についてアンケートを実施し、賛成の声が多いことから、短時間正規職員制度を導入し、1名が転換した。
- ・労災事故0件、時間外労働超過者0件、育児休業1名

②介護事故対策委員会 … 介護事故を防止し、安全なサービスを提供する体制の確立に取り組む

[報告事項]

- ・千葉県への事故報告は2件。1件は利用者自身によるケガで、迅速に病院受診と家族への連絡と謝罪を行った。利用者自身によるケガであっても職員の見守り・声掛けの方法を見直した。1件は短期入所初回利用の利用者が夜間に無断外出した。警察や関係機関に連絡し、職員が手分けして捜索した結果、蘇我駅で発見できた。
- ・前年度より、事故件数は大幅に減少したが、ヒヤリハット報告よりも事故報告の方が多いいことを踏まえ、次年度はヒヤリハットの段階で事故防止に努めるようにする。

③感染症対策委員会 … 施設内感染の予防及び発生防止のための対策と職員教育

[報告事項]

- ・感染予防ポスターの掲示(手洗い、食中毒予防)、自己チェックシート・館内巡視(ハピネス浜野・グループホームセレニテ)を年4回実施、研修(10月吐物処理演習、11月インフルエンザ予防研修)を実施した。吐物処理演習を行うことで、手順を確認し汚物の処理に際しての手技も統一することができた。

④危機管理委員会 … ヒヤリハット・事故報告の検討と施設全体のリスクマネジメント

[報告事項]

・事故報告・事故検証の書式をより記入しやすく、分析しやすいものに変更した。また、ヒヤリハットの書式を「ヒヤリハット・発見シート」とし、不明な傷や、事故につながる不注意などを迅速に発見、報告できるようにした。発見シートの活用で、今まで見逃されがちだった小さな事故を取り上げ、分析・検証を繰り返すことにより、職員一人一人の危機管理に対する意識を高めることができた。

⑤身体拘束廃止委員会 … 身体拘束のない介護の実践に向けた取り組み

[報告事項]

・「何が拘束に該当するのか」への理解が深まっており、新規に拘束事案が発生すると速やかにチェック表に加えられている。
・医務および児発・放デイからも委員が選出され、会議は毎回、前回からの継続する内容が立ち消えにならないよう留意した。
・身体拘束実施チェック表の運用状況の確認およびケース検討等を実施した。ケース検討は具体的かつさまざまな事案が提示、話し合われた。

⑥虐待防止委員会 … 虐待に関する調査と検討 人権擁護・虐待防止のための職員教育

[報告事項]

・職員全体に向けて虐待防止の研修テーマ「不適切なケア」を10月に実施し、各場面（食事・移動・接遇）において「虐待」になる前の段階のグレーゾーンをなくすことが大切であることの理解をグループワークで深め、職員間の業務についても注意し合える環境作りに取り組んだ。
・虐待の早期発見、自身の振り返りをするための「職員セルフチェック」は、1月に実施した。セルフチェックリストの集計結果から、虐待と思われる行為はなく市への通報等はなかったが、支援の悩みや体調が優れないなどのチェックが前年より増えている。

⑦防犯・防災委員会 … 防災計画の立案・実施と防犯・防災対策の推進、マニュアルの整備

[報告事項]

・避難訓練の計画、消防機器の自主点検、総合訓練と夜間想定訓練、炊き出し訓練を実施した。来年度では津波想定訓練、防犯訓練を計画に取り入れ、実施して行く。

⑧食事提供会議 … 利用者の食事全般や衛生に関する取り組み

[報告事項]

・給食委託業者も参加して、毎月、利用者の喫食状況の把握、食事形態・量の検討を行った。
・行事メニューや防災食の検討、防犯・防災委員と協力し、利用者も参加して炊き出し訓練を実施した。
・衛生面では、ごみの処理や食器の片づけについて確認した。

⑨全体会議 … 全職員へ法人・施設の報告事項を伝える

[報告事項]

・体調不良、急用以外の職員は会議に出席し、利用者関連事項、事務（給食）、行事関係等を報告し、検討した。また、その時間を活用して、新人事制度の説明、委員会研修を実施した。

【職員研修・実習生受け入れ実施報告】

月	研 修 等	実習生等受け入れ
4月	社会福祉法人会計簿記研修(入門編) 歯科保健巡回診療指導事業に係る担当者事業説明会	初任者研修 介護実習1名
5月	接遇マナー研修 移動・移乗のツボ 社会福祉法人会計簿記研修(初級編) 求人用手続き説明会 「ビジョントレーニング」による子どもたちの困り感への支援 桜ヶ丘特別支援学校(運動会)	初任者研修 施設見学6名
6月	関プロ職員スキルアップ研修 救急法研修 共助会事務担当研修会 新入社員防火教室 袖ヶ浦特別支援学校(運動会)	介護実習2名 施設見学8名
7月	全国身体障害者施設協議会研究大会	初任者研修 介護実習2名 介護等体験2名
8月	千葉県相談支援従事者初任者研修(講義) NLPセミナー フォローアップセミナー ヨルゼミ「そそる」	介護実習2名 初任者研修 施設見学5名
9月	関東甲信越地区身体障害者施設職員研修大会 健康づくり研修会 訪問介護におけるリスクマネジメント 排泄関連技術(初級編)	介護実習2名 相談実習1名
10月	介護サービス事業所・施設のための感染症対策 社会福祉会計簿記講座(上級財務管理) 平成29年度第2回鎌取圏域ケアマネ勉強会 袖ヶ浦特別支援学校(ミニ集会) 相談援助実習の理解と事前指導講義	初任者研修 介護実習1名 介護等体験2名
11月	平成29年福祉サービス管理責任者研修 福祉職員キャリアパス対応生涯研修(中堅職員編) 福祉職員キャリアパス対応生涯研修(新任職員編) 福祉職員キャリアパス対応生涯研修(チームリーダー) 平成29年度千葉県障害者虐待防止・権利擁護専門研修(虐待防止 マネージャー研修及び管理者研修)	介護等体験2名 初任者研修 施設見学9名

	袖ヶ浦特別支援学校（50周年式典） 千葉県身体障害者施設協議会職員研修会 防犯訓練・講和・護身教室	
12月	平成29年度障害者施設職員研修会 平成29年度千葉県障害者虐待防止・権利擁護専門研修(虐待につながる身体拘束の防止研修)	初任者研修 施設見学2名
1月	平成29年度スーパービジョン研修会 淑徳大学(実習報告会) 相談支援従事者専門コース研修	介護等体験1名
2月	障害福祉事業経営セミナー 介護人材確保セミナー コーチングスキル研修 関東甲信越地区身体障害者施設協議会 総会・施設長会議 千葉市障害児通所支援事業所連絡会（研修会・施設見学会）	初任者研修 施設見学9名
3月	防火管理者実務講習	初任者研修 施設見学6名

研修等

- ・社会保険労務士を講師として、所属長等（9名）が新人事制度の研修に12回参加した。
 - ・キャリアパス制度を理解するため、全社協キャリアパス対応生涯セミナー等に参加した。
 - ・社協、千葉県が主催するセミナー等に参加し、業務を進めるための知識を習得した。
 - ・各関係機関との連携を深めるため、事業所間連絡会や研修会に参加した。
 - ・生活支援員の介護技術の向上のため、各種研修に参加した。
- *外部研修参加者は全体会議や部署内会議で伝達研修を実施した。

実習生等受け入れ

- ・介護等体験実習生を教職課程の一環として各大学から計7名受け入れた。
- ・介護実習生を京葉介護福祉専門学校から計8名受け入れた。
- ・相談援助実習生を淑徳大学から計1名受け入れた。
- ・初任者研修施設見学として6回実施し、(株)ふれあいサービスセンターから計37名受け入れた。
- ・初任者研修実習生を(株)ふれあいサービスセンターから計5名受け入れた。
- ・施設見学者を福祉人材センターから計8名受け入れた。

事務局

1. 事業運営 … 社会福祉法人制度改革に伴う適正な法人運営と各事業の安定化を図る。

①各事業の管理・調整

[報告事項]

- ・千葉市に児童通所支援事業定員6名に増員（平成29年7月）申請、居室変更申請を実施した。
- ・障害者支援施設ハピネス浜野が千葉市の実地指導を受けた。指導内容としては、支援計画書の利用者記載欄の日付に不備があり計画書未作成減算となり、利用者1名5か月分の給付費の返戻が発生した。
- ・千葉市の社会福祉法人指導監査を受けた。会計の書類の不備2点の指摘があり、改善報告を行った。
- ・日中の生活支援員の職員数の充実とサークル活動や外出活動の充実を図る為、勤務形態の見直しを行った。また、世話人の勤務時間を、グループホームで職員が必要な時間に合わせて変更した。
- ・千葉県歯科医師会による心身障がい児（者）歯科保健巡回検診診療指導事業による指導を利用者・職員で受けた。

②適切な労務・財務管理

[報告事項]

- ・専門的知識を有する税理士、社会保険労務士と連携するための措置として、
 - ①会計業務について、帳簿入力から決算業務を行っていたが、会計業務及び決算書作成業務を税理士法人に委託、それに伴う新しい財務システムの導入を行った。
 - ②今後の事業展開を視野に入れ、ハピネス浜野、グループホームセレニテの拠点間で就業管理ができるよう、就業管理システムの入替を行った。
 - ③平成29年2月に給与業務を社会保険労務士に委託したため、関連性のある年末調整業務についても業務委託した。
- ・会社役員賠償責任保険制度（東京海上日動火災保険株式会社）への加入。役員、評議員だけではなく、施設の管理職クラスまで保証される。
- ・新人事制度（キャリアパス）の運用を開始した。

③各種規程の整備

[報告事項]

- ・生活支援員の勤務時間変更等に伴い、就業規則の変更を行った。
- ・育児、介護、健康不全等の事情により正規職員としての働き方が困難となった場合に、勤務時間や勤務日数を短くすることで、働きやすい職場環境をつくり、意欲・能力の高い人材を確保・定着させる為、短時間正規職員制度を導入した。
- ・随意契約の可能額の変更及び手続き方法を明確にするため、経理規程の一部改正を行った。
- ・自家用車での通勤、出張について、国土交通省の平均燃費基価値を参考に1キロ当たりの支給額を変更するため旅費規程の一部改正を行った。

④設備の保守計画作成

[報告事項]

- ・昇降式介護浴槽の老朽化に伴い、入れ替えを行った。新しい昇降式介護浴槽になった事により、職員の入浴介助業務の軽減となった。
- ・8月に加圧給水装置がエラーを起こし、館内の水が出ないという不具合が発生。点検業者を変更し、定期的にボイラー等と同様に加圧給水装置の点検も実施した。水道に関する設備は建設当時より交換等を行っていない箇所も多々あり、エラー等の不具合も増えているため、次年度以降、修繕を実施していくための設備修繕計画を立てた。
- ・ハピネス浜野内で契約していた照明LEDの5年間のレンタル期間が満了したので買い取った。LEDの寿命は約10年となるため、電気設備の修繕計画を立てた。

⑤15周年記念行事に向けての企画立案

[報告事項]

- 第2回理事会にて方向性を決め、実行委員会を立ち上げ計画案を作成した。第5回理事会において承認された内容は次のとおり。
- ・ハピネス浜野15周年記念式典の開催
地域の方々、利用者、保護者、職員等を交えて平成31年3月中に開催する。
 - ・記念誌の発行
一般的な式典の内容の他、利用者の作品や様子の写真、文章等を載せる。

⑥地域との連携

[報告事項]

- ・利用者・職員で浜野地区や諏訪神社の行事（盆踊り、秋祭り、初詣、豆まき）に参加した。
- ・ハピネス祭りの前に、施設職員と諏訪神社奉賛会並びに地元町会で会合を開き、今後の協力体制について話し合うことができた。今後も続けて行きたい。
- ・ハピネス祭り際には、ボランティアとして地域住民の参加があった。
- ・町内清掃に参加したり、1月下旬の大雪の際、施設職員で施設前から諏訪神社までの道路の雪かきを実施した。
- ・12月より、千葉県社会福祉協議会生浜地区 障害部会の6名が、施設内の清掃、利用者の見守り、日中活動においてボランティアとして活動して下さった。
- ・1月より、千葉県あんしんケアセンター浜野の会議室を利用し、認知症カフェをオープンした。

2. 防災計画 … 防犯・防災において職員全員がマニュアルに沿った行動ができるようになる。

- ①利用者及び職員に対して、総合訓練と夜間想定訓練を実施し、防災の知識と行動力を高める。
- ②地域住民との連携を強化し、災害時にお互いの協力体制を図れるようにする。
- ③防犯訓練を実施する。

[報告事項]

- ・総合避難訓練を6月7日、夜間想定訓練と非常用炊き出し訓練を11月15日に実施した。また、研修として水消火器を使用し消火器取扱研修を実施した。
- ・障害者支援施設若葉泉の里（若葉区）が千葉東署と実施した防犯訓練に委員3名が参加した。
- ・避難訓練等で職員が操作すべき防災設備等を把握できておらず、どのような設備があるのか分からないといった声もあった為、定期的な設備説明、作動練習計画を立てた。
- ・防犯対策として、さすまたを2本導入し、事務所に設置したが、今後は各スタッフルーム、グループホームセレニテにも設置する予定。次年度は取扱研修を実施する。

3. 広報活動 … 法人の活動状況を広く周知させる。

- ①対象（関係機関・新規利用者・現利用者・求人等）を明確にした広報活動に取り組む。
- ②ホームページ・Facebookを更新し、随時情報を提供する。

[報告事項]

- ・ホームページのレイアウトの変更を行い、閲覧しやすいようにした。
- ・利用者の画像使用承諾に基づき、ホームページとFacebookに行事や活動内容を都度アップし、速やかな情報提供を実施した。
- ・インターネット上の安全確保のため、ウィルス対策等のセキュリティシステムを構築した。

4. 食事提供 … 利用者の状況に応じた食事の提供と適切に栄養を管理する。

- ①食事形態を考慮し、楽しい雰囲気の中で食事ができるように努める。
- ②嗜好調査、意見箱「味ポスト」を設け、利用者の声を反映させる。
- ③行事食や特別メニューを提供する。
- ④行事食以外でも、利用者の希望を取り入れた食事会を計画する。
- ⑤栄養ケアマネジメントを継続する。

[報告事項]

- ・食事形態を話し合い、利用者の状況に合わせて適宜変更を行った。
- ・嗜好調査は年1回6月に行い、味やメニューのリクエストを取り入れた。
- ・行事食は季節のメニューを月1回のペースで提供し、その他ハピネス祭りやクリスマス会、行事等に合わせた特別メニューや鍋パーティーを実施した。
- ・体重が急激に減少してしまった方へは、医務室と連携し、補助食やメニューの改善を行った。
- ・1月22日に千葉市保健所による監査が行われ、結果はすべてA評価で指摘等はなかった。

障害者支援施設ハピネス浜野

(生活介護・施設入所支援・短期入所)

基本方針

- ・利用者および家族、地域との信頼関係の構築に努め、利用者の立場にたった支援を提供する。
- ・利用者の特性を理解し、安全かつ統一されたサービスを提供する。
- ・充実した生活の場となるよう、利用者のニーズを個別性のあるサービスへ反映させる。

【利用者年齢構成】

平成30年3月31日時点

		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	計(人)
入所 利用者	男	1	1	1	4	6	3	0	16
	女	0	1	2	5	3	3	2	16
通所 利用者	男	2	13	7	3	2	0	0	27
	女	2	2	3	1	2	0	0	10
計		5	17	13	13	13	6	2	69

【利用者平均年齢】

入所利用者 49 歳

通所利用者 31 歳

生活介護

サービス方針

- ・安全な介護サービスを提供できるよう、情報の共有を図り、職員間の連携を高める。
- ・利用者自身で選択・決定できるよう活動内容の充実を図る。

目 標

- ・利用者一人ひとり個別性の高い活動を実施する。

[報告事項]

- ・昨年度より実施していたサークル活動の充実化を図り、利用者に対し、達成感や興味の幅を広げてもらえるよう取り組んだ。
- ・木工、手工芸サークルでは作った作品をハピネス祭りで販売した。また、職員休憩室のテレビ台の作成や、利用者の食事用台など、様々な物を作成した。
- ・美容・サークルではネイルを、ハピネス祭りやクリスマス会、外出活動時などにネイルをし、お洒落を楽しんだ。
- ・園芸サークルでは、施設内に畑を作り、きゅうりやミニトマトといった野菜作りも実施し、収穫したミニトマトやナスなどをハピネス祭りで販売した。
- ・音楽サークルでは、日頃から練習を重ね、ハピネス祭りやハーティーコンサート、クリスマス会で発表、演奏した。
- ・料理サークルでは季節に応じたお菓子作りを実施し、みんなで試食した。

【当初予算対比】

	予 算	実 績	当初予算対比
利用者延べ人数（名）	14,649	14,061	△588
1日あたり平均利用者数（名）	57.0	54.7	△2.3（96.0%）
事業収入（千円）	217,787	196,748	△21,039（90.3%）

【直近5年間の利用者の推移】

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
利用者定員（名）	60	60	60	60	60
1日あたり平均利用者数（名）	48.6	50.4	53.0	54.5	54.7
稼働率（%）	81.0	84.0	88.3	90.1	91.1
稼働日数（日）	259	258	259	259	257
利用者延べ人数（名）	12,587	13,026	13,731	14,126	14,061
事業収入（千円）	175,472	177,042	202,374	205,748	196,748
1人あたり利用単価（円）	13,941	13,591	14,738	14,565	13,992
平均障害支援区分	5.4	5.2	5.2	5.3	5.4

施設入所支援

サービス方針

- ・利用者の自立に向け、生活の質を高めるため、日常のあらゆる環境を整える。

目 標

- ・利用者の心身の変化に応じた適切な対応に努める。

[報告事項]

- ・高齢利用者の介護保険施設利用や体調不良による長期入院などで退所となり、利用者3名が入替わった。それに伴い、入所部門会議で、利用者の快適且つ安全な生活とフロア毎の介護の平均化について検討した。その結果、利用者・家族へ説明を行ったうえで居室変更を実施した。居室が変更となった利用者の状況把握に努めた。
- ・昨年度同様、主に週末を利用した外出活動として、近隣のコンビニやショッピングセンターへの買い物を実施した。
- ・千葉県身体障害者施設協議会の行事（オセロ大会・ハーティーコンサート）に参加し、他施設利用者と交流を図った。
- ・医務室と連携を図り、利用者の体調の変化に留意した。

【当初予算対比】

	予 算	実 績	当初予算対比
利用者延べ人数（名）	11,461	11,393	△68
1日あたり平均利用者数（名）	31.4	31.2	△0.2（99.4%）
事業収入（千円）	68,159	67,342	△817（98.8%）

【直近5年間の利用者の推移】

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
利用者定員（名）	32	32	32	32	32
1日あたり平均利用者数（名）	31.4	31.3	31.0	31.1	31.2
稼働率（%）	98.1	97.8	96.9	97.2	97.5
稼働日数（日）	365	365	366	365	365
利用者延べ人数（名）	11,456	11,451	11,342	11,340	11,393
事業収入（千円）	70,047	67,593	66,381	66,938	67,342
1人あたり利用単価（円）	6,114	5,903	5,852	5,903	5,910
平均障害支援区分	5.1	5.1	5.2	5.3	5.3

医 務 室

サービス方針

- ・利用者の安心・安全を確保するために健康管理に努め、異常の早期発見、健康保持のための適切な措置を講じる。

[報告事項]

- ・臨時および定期通院の付き添い対応…定期通院は月平均28件で約3割を施設対応、臨時通院は月平均3件で施設対応、救急車対応は年間1件であった。1月にインフルエンザA型の発症があり利用者1名、職員1名が感染。
- ・日々の体調管理と服薬管理として、入所利用者の毎月1回嘱託医の診察を実施。
- ・嘱託歯科医訪問歯科診療…入所利用者中心で、月2回の診療で検診と歯石除去、虫歯治療や入れ歯の作製などが実施された。
- ・11月に心身障がい児(者) 歯科保健巡回検診診療指導事業による歯科指導を受けた。
- ・がん検診等の受診対応…大腸がん検診11名実施。
- ・インフルエンザワクチン接種の対応…11月に入所31名実施。今年度は肺炎球菌ワクチン接種の対象者はなし。
- ・利用者の病状変化に伴い医療ケア(尿留置カテーテルの交換と管理、経管栄養、ネブライザー吸入、気管内および口鼻腔内吸引、呼吸器管理など)を実施。
- ・体重変化の観察と栄養マネジメントの実施。
- ・健康診断実施と結果フォロー…健康診断入所32名とショート利用者2名が実施。結果については要治療・要精検の有所見者は4名であった。嘱託医および家族を通じ主治医への連絡を実施した。
- ・今後さらに医療ケアの必要度が増してくる。また加齢に伴う疾患もあるため疾病予防に力を入れ、サービスの低下をきたさないよう努めていきたい。

訓 練 室

サービス方針

- ・利用者が心身ともに快適に過ごすため、異常の早期発見に務める。
- ・本人の意思を尊重したサービスの提供を心掛ける。
- ・利用者の身体機能の維持のため、日常の活動を適宜、評価、報告、提案する。
- ・定期的にはリハビリテーション実施計画書を見直す。

[報告事項]

- ・自ら身体を動かす機能訓練になるよう留意した。
- ・補装具の新調・修理にあたっては身体機能と日常の使いやすさに留意した。

短期入所

サービス方針

- ・利用者及びその家族が安心して利用できるよう関係機関との連絡調整に努める。
- ・緊急な場合にも速やかな対応を心がけ、利用者のニーズに合わせた環境と介護サービスの提供に努める。

目 標

- ・利用者や家族の生活状況に応じ、希望に沿って利用できるよう調整に努める。

[報告事項]

- ・緊急利用が必要な利用者へのベッドコントロールがスムーズに行えるよう調整を図った。
- ・利用者が安心して安全に過ごせるよう、関係機関との連携を密に取り、ケース会議を活用して職員と情報共有を図った。

【当初予算対比】

	予 算	実 績	当初予算対比
利用者延べ人数（名）	2,077	2,003	△74
1日あたり平均利用者数（名）	5.7	5.5	△0.2（96.5%）
事業収入（千円）	20,737	19,342	△1,395（93.3%）

【直近5年間の利用者の推移】

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
利用者定員（名）	4	6	6	6	6
1日あたり平均利用者数（名）	3.3	4.7	5.6	5.7	5.5
稼働率（%）	82.5	78.3	93.3	95.0	91.7
稼働日数（日）	365	365	366	365	365
利用者延べ人数（名）	1,203	1,731	2,034	2,088	2,003
事業収入（千円）	9,863	14,888	17,861	19,402	19,342
1人あたり利用単価（円）	8,199	8,601	8,781	9,292	9,657
平均障害支援区分	5.1	5.3	5.1	5.1	5.2

【利用者行事等実施報告】

月	行 事	場 所	行事食・その他
4月	外出活動（お花見）	大百池公園	お花見松花堂弁当
5月	千葉県障害者スポーツ大会 （14日） 外出活動 懇話会（17日）	青葉の森陸上競技場 Mr. Max ユニモちはら台（映画）	節句メニュー
6月	オセロ大会（21日） 外出活動	千葉県ハーモニープラザ アリオ蘇我 東京ドイツ村他	リクエストメニュー 産業現場実習3名
7月	七夕飾り 外出活動	1階（ねむの木広場） アリオ蘇我	七夕メニュー 産業現場実習1名
8月			精進料理
9月	ハピネス祭り 外出活動	ハピネス浜野 ディズニースー	お祭りメニュー
10月	ハーティーコンサート（18日）	かずさアカデミアパーク	ハロウィン
11月	外出活動	クロスポ浜野	リクエストメニュー
12月	利用者懇話会（6日） クリスマス会（20日） 外出活動	3階（すずかけ） 1階（ねむの木広場） アリオ蘇我	インフルエンザ [※] 予防接種 クリスマスメニュー 冬至メニュー 年越しそば
1月	諏訪神社初詣（1日） 新年会（鍋パーティー）	諏訪神社 ねむの木広場	おせち料理 七草粥・白玉汁粉 寄せ鍋
2月	諏訪神社節分祭（3日）	諏訪神社	節分メニュー バレンタイン
3月	ひな壇飾り	ねむの木広場	利用者健康診断 ひな祭りメニュー
毎月	<p>【理美容】 アラモード、髪人（第3月曜・第2火曜）</p> <p>【ボランティア活動】 生け花（第1月曜） 音楽を楽しむ会（最終水曜） 紙芝居（第2水曜） 車いすダンス（第2・第4月曜） ボッチャ（偶数月 第2水曜） パソコン（第1木曜・第2火曜）</p> <p>【サークル活動】手工芸、木工、音楽、美容、園芸、料理</p> <p>【その他】体重測定（1回） 嘱託医診察（1回） 訪問歯科診療（2回） みんなの声ポスト確認（月初） 味ポスト（随時）</p>		

産業現場実習

桜が丘特別支援学校、市原特別支援学校から高等部の実習生を計4名生活介護部門で受け入れた。

外出活動

入所部門：ディズニーランド、買い物（アリオ蘇我、イオン鎌取、Mr. MAX）
カラオケ、ドライブ（大百池公園、青葉の森公園）映画鑑賞（ユニモちはら台）

ハピネス祭り

地域の協力を得て行った。利用者のファッションショーや、作品の販売など、利用者が主体で、地域と施設が一体となり楽しんだ。

クリスマス会

利用者の劇、ハンドベルやバンド演奏など、利用者が主役となり楽しんだ。

行事食

季節感を取り入れた食事、利用者から味ポストへのリクエストメニューを実施した。

利用者懇話会

入所、生活介護利用者と職員が集まり、お茶を飲みながら意見交換を行った。

新年会

入所、セレニテの利用者と職員が鍋パーティーを実施、新年の抱負を語り合った。

オセロ大会

利用者から4名(団体戦3名、個人戦1名)を選抜し、1名が個人勝ち抜きトーナメントで3位入賞。団体戦ではI部の7位となり、平成30年度はII部からのスタートが決まった。

ハーティーコンサート

利用者4名が出場し、音楽の発表をした。また、音楽やゲームを通じて他施設利用者との交流を図った。

車椅子ダンスボランティア

音楽に合わせて車椅子でのダンスを楽しんだ。

パソコンサークル

利用者個人のニーズに基づき、パソコンの指導を受けた。

生け花ボランティア

生花が一番良い表情になるように花瓶へ活け、ロビーへ飾るなどして施設内を彩った。

歌を楽しむ会

ボランティアの楽器演奏と歌声に合わせて一緒に歌い、歌を楽しんだ。

紙芝居

自転車に紙芝居を乗せ、衣装を着たボランティアの演じる紙芝居を楽しんだ。

サークル活動

手工芸、木工、音楽、美容、園芸、料理サークルを新たに立ち上げ、利用者が興味のある活動を少人数でも回数多くできるよう取り組んだ。また、ハピネス祭りでの作品の展示・販売を行った。

【利用者週間活動実施報告】

	午 前	午 後
月曜日	ラジオ体操 レクリエーション 機械浴(男女) 機能訓練	各種活動 機能訓練
火曜日	ラジオ体操 レクリエーション 機械浴(男女) 介助浴(女性) 機能訓練	機械浴(男女) 介助浴(男性) 各種活動 機能訓練
水曜日	ラジオ体操 レクリエーション 機械浴(男女) 整容 機能訓練	各種活動 誕生日会(最終週) 機能訓練
木曜日	ラジオ体操 レクリエーション 機械浴(男女) 機能訓練	各種活動 機能訓練 訪問歯科(施設入所支援利用者のみ)
金曜日	ラジオ体操 レクリエーション 機械浴(男女) 介助浴(女性) 機能訓練	機械浴(男女) 介助浴(男性) 各種活動 機能訓練
土曜日	レクリエーション 居室内環境整備	余暇活動 外出活動 居室内環境整備
日曜日	レクリエーション 居室内環境整備	余暇活動 外出活動 居室内環境整備

【ヒヤリハット・事故報告】

1) ヒヤリハット

ヒヤリハットとは、職員がある場面で「危なかった」と感じたこと。

内 容	件 数	前年度件数
転倒	4 件	2 件
転落	0 件	1 件
ずり落ち	3 件	5 件
加害行為	0 件	0 件
服薬ミス	2 件	5 件
傷害	2 件	3 件
器物破損	1 件	0 件
送迎	3 件	2 件
その他	2 7 件	2 2 件
合計	4 2 件	4 0 件

2) 事故報告 ①～②は千葉市事故災害報告事項

事故とは、利用者へ職員の関わりの有無を問わず発生した事象と施設内で発生した通常状態以外の事象を指す。結果的に利用者の身体的損傷等がなくても発生した事実に着目する。

内 容	件数	前年度件数
転倒	24件 (②)	34件
転落	2件	10件
ずり落ち	9件	10件
加害行為	1件	6件
服薬ミス	9件	20件
傷害	10件	23件
器物破損	7件	6件
送迎中	3件	3件
誤嚥	1件	0件
その他	18件 (①)	39件
合計	84件	151件

千葉市事故報告詳細

① 無断外出 (女性 21歳)

平成29年9月3日(日曜日)2時30分、施設内から施設敷地外にて発生。

短期入所を初めて利用した身体障害のない知的障害の当事者が、深夜に2階の居室からベランダを通し外階段を使用し、敷地外へ出て行方不明になった。当日、2時35分に警備会社から外階段のセンサーに反応ありと連絡があり、直ちに館内を見回り、当事者がいない事が分かる。居室に迷惑をかけたと謝罪の置手紙が残されていたが、動機となる直接的原因は不明。夜勤者は警備会社と共に敷地内と近所を捜索するも発見できず、警察へも捜索を依頼。職員が捜索範囲を広げ5時40分にJR蘇我駅で発見する。今後、身体障害のない知的障害の利用者対応の未熟さ、無断外出に対する予知が出来ていなかった事、また外階段へ続く扉の施錠の確認不足もあったので夜間の安全管理を十分に行っていく。新規利用に関しては障害特性を十分に理解した上で支援内容を検討していく。

② 骨折事故 (男性 52歳)

平成29年9月11日(月曜日)9時30分、2階浴室脱衣場にて発生。

入浴担当の生活支援員2名が共に洗い場におり、当事者よりも離れた位置で他の利用者の入浴支援を行いながら、脱衣をしている当事者に転倒や転落に注意するように声掛けを行っていた。車椅子上で当事者が左手で上着を引っ張り、前かがみの姿勢で脱ごうとし後輪が浮き、バランスを崩し麻痺側である右肩側から転落した。痛みと腫れがあるため、看護師付添いで整形外科を受診、レントゲン撮影にて右膝大腿骨骨折と診断あり、ギブス固定による治療となる。当事者は日常動作的にある程度自立しているという考えから、安全確認が注意深くなされず、危険性の予測が甘かった。また、当事者の障害特性の理解不足もあったので、危険予防の声掛けと近位での見守りを実施する。

【苦情等について】

「みんなの声」ポストで利用者からの意見を吸い上げ、各部署で検討するとともに、利用者や家族に対し迅速な連絡と丁寧な説明を心がけて、コミュニケーションを図るよう取り組んだ。苦情は0件であった。

相談支援事業所ハピネス浜野

(計画相談支援・障害児相談支援)

支援方針

- ・地域生活が円滑に行えるよう相談者の希望に沿った計画・立案することで、充実した福祉サービスが受けられるよう支援する。
- ・法制度の変動を踏まえ、各関連機関との連携を図り、迅速な対応に努める。

目 標

- ・障害児・者や家族の思いをくみ取った丁寧な対応に努める。
- ・施設内外での研修や勉強会に参加し、スキルアップを図る。

[報告事項]

・相談員の体制などを考慮しながら、計画相談の新規契約は11件(障害者6件・障害児5件)となり、利用者・家族と向き合いながら相談支援を行った。

・緊急困難事例と思われる利用者に対し、担当区の障害支援課・基幹相談センター、成年後見人の方とケース会議を行い、短期入所対応を行いながら、地域生活について検討、情報共有と支援実施を行った。対応利用者の利便性を考慮し、他相談支援事業所へ引き継ぎを行い、利用者がサービスにおいて不利益な事態にならないよう努めた。

・千葉県実施のスキルアップ研修に参加し、各種障害の理解と地域生活において相談支援の充実を図れるように努めた。

【当初予算対比】

	予 算	実 績	予算対比
計画相談支援事業収入（千円）	2,500	2,757	257（110.3%）
障害児相談支援事業収入（千円）	800	821	21（102.6%）
合 計	3,300	3,578	278（108.4%）

【直近5年間の利用者の推移】

（計画相談支援）

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
計画書作成件数（件）	52	106	72	87	75
モニタリング件数（件）	52	105	178	155	155
新規契約件数（件）	48	51	21	12	6
3月31日時点契約件数（件）	56	89	100	112	103
事業収入（千円）	1,559	3,211	3,130	2,886	2,757

（障害児相談支援）※平成27年2月1日事業開始

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
計画書作成件数（件）	—	2	12	26	23
モニタリング件数（件）	—	0	17	81	37
新規契約件数（件）	—	2	10	6	5
3月31日時点契約件数（件）	—	2	12	18	20
事業収入（千円）	—	34	470	940	821

グループホームセレニテ

(共同生活援助)

基本方針

- ・地域において自立した生活を営むことができるよう、入居者の心身状況等に応じたサービスの提供に努める。
- ・本人のニーズ、能力に合わせた日常生活が送れるよう各事業所と連携を図る。

サービス方針

- ・入居者同士の思いをくみ取りながら、楽しく、安全に生活できるよう援助する。
- ・共同生活における暮らし方を入居者と共に構築できるよう援助する。

目 標

- ・利用者の心身の状況に応じた生活スタイルを確立できるよう援助する。
- ・利用者主体で行事の計画を立て、実施する。

[報告事項]

- ・1名一人暮らしへ移行に伴う退所。新規利用者の入居に伴う契約と受け入れ態勢を整えた。
- ・利用者の日中活動先の変更や、スケジュール変更に伴い、送り出し・入浴時間などの調整を行い、状況に応じたサービスの提供に努めた。
- ・利用者自身が日常生活上の課題に取り組みやすいよう支援を行い、利用者の生活能力の維持・向上を目指した。
- ・行事は利用者の希望なども取り入れ、送別会・歓迎会・外出など計画を立て実施した。

【入居者年齢構成】

平成30年3月31日時点

		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	計(人)
セレニテ 入居者	男	0	1	1	1	1	0	0	4
	女	0	1	0	1	0	0	0	2
計		0	2	1	2	1	0	0	6

【当初予算対比】

	予 算	実 績	予算対比
利用者延べ人数 (名)	2,085	2,053	△32
1日あたり平均利用者数 (名)	5.7	5.6	△0.1 (98.2%)
事業収入 (千円)	18,081	17,745	△336 (98.1%)

【直近5年間の利用者の推移】※平成27年5月事業開始

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
利用者定員(名)	—	—	6	6	6
1日あたり平均利用者数(名)	—	—	3.4	5.7	5.6
稼働率(%)	—	—	56.7	95.0	93.4
稼働日数(日)	—	—	336	365	365
利用者延べ人数(名)	—	—	1,152	2,086	2,053
事業収入(千円)	—	—	8,949	17,477	17,745
1人あたり利用単価(円)	—	—	7,955	8,378	8,643
平均障害支援区分	—	—	3.2	3.4	3.5

【活動実施報告】

月	活 動	場 所
4月	花見(芝桜など)・バーベキュー(29日)	東京ドイツ村
5月	送別会(17日)	グループホームセレニテ
7月	歓迎会(24日)	グループホームセレニテ
8月	花火大会(2名)(26日)	蘇我フェスティバルウォーク
9月	ハピネス祭り(9日)	ハピネス浜野
11月	紅葉狩り※雨天のため目的地変更(18日)	千葉市科学館
12月	忘年会(28日)	グループホームセレニテ
1月	ハピネス合同新年会(鍋パーティー)(6日)	ハピネス浜野
2月	節分祭(1名神事から参加、他2名)(3日)	諏訪神社
3月	花見・イルミネーション観覧(31日)	東京ドイツ村
土日	浜野周辺の散歩・買い物・お菓子作り等	

【ヒヤリハット・事故報告】

内容	事故件数	ヒヤリハット件数
転倒	2件	1件
転落	1件	0件
ずり落ち	0件	1件
服薬ミス	0件	1件
器物破損	0件	0件
送迎中	0件	0件
その他	3件	1件
合計	6件	4件

児童通所支援事業所ハピネス浜野

(児童発達支援・放課後等デイサービス)

基本方針

- ・子供の気持ちを尊重し、楽しく過ごせる居心地のよい場所を提供する。
- ・心身の健やかな成長と、集団生活における基礎を培い、地域で豊かに生活することを目指す。
- ・ご家族、ご本人が安心して生活できる様支援する。

【当初予算対比（児童発達支援事業＋放課後等デイサービス）】

	予 算	実 績	予算対比
児童発達支援利用者延べ人数（名）	169	147	△22
放課後デイ利用者延べ人数（名）	711	1,030	319
合 計（名）	880	1,177	297
児童発達支援 1日あたり平均利用者数（名）	0.7	0.6	△0.1
放課後デイ 1日あたり平均利用者数（名）	2.8	4.0	1.2
合 計（名）	3.5	4.6	1.1（131.4%）
児童発達支援事業収入（千円）	1,600	1,513	△87
放課後デイ事業収入（千円）	13,516	13,468	△48
合 計（千円）	15,116	14,981	△135（99.1%）

【直近5年間の利用者の推移（児童発達支援事業＋放課後等デイサービス）】

※平成27年10月事業開始

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
利用者定員（名）	—	—	5	5	6
1日あたり平均利用者数（名）	—	—	2.2	3.2	4.6
稼働率（%）	—	—	44.0	64.0	76.7
稼働日数（日）	—	—	128	259	257
利用者延べ人数（名）	—	—	281	827	1,177

児童発達支援

サービス方針

- ・心身の発達を促すため、個別的、集団的に適切な支援を行う。
- ・療育、機能訓練、医療的ケア（吸引、経管栄養など）、相談支援などを提供する。
- ・幅広いニーズに応えられるよう、保育士、理学療法士、看護師などが連携して取り組む。
- ・個別支援計画に基づき、一人ひとりの発達に合わせた個別支援を行う。

目 標

- ・様々な経験を積み重ね、遊びの中から自発性や、自己表現力を育てる。
- ・療育やリハビリを通じて、持っている力を発揮できるよう取り組む。
- ・集団での活動により、家族以外の大人や子供同士の関わりを広げる。

[報告事項]

- ・支援開始時の朝の会で、呼名、童謡や手遊び等を姿勢の保持に注意して行った。
- ・手形・足形スタンプでの制作物作成、紙ちぎりや紙ふぶき遊び、玩具等を使用した感覚遊び、絵本の読み聞かせ、外気浴等を組み合わせてメリハリのある療育を実施した。
- ・利用者が2人から4人に増えたことで、複数の児童で活動を実践する事ができたと共に、活動の活性化や親子同士の関係構築に繋げることができた。
- ・他職種との連携により、自立活動の幅を広げることができた。
- ・今後は、地域と連携し、体験や活動の幅を広げていきたいと考えている。

【直近5年間の利用者の推移】

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
1日あたり平均利用者数（名）	—	—	0.1	0.3	0.6
稼働日数（日）	—	—	128	259	257
利用者延べ人数（名）	—	—	2	87	147
事業収入（千円）	—	—	18	877	1,513
1人あたり利用単価（円）	—	—	9,000	10,080	10,293

放課後等デイサービス

サービス方針

- ・ご家族、学校との連携を密に、本人にあった支援を提供する。
- ・幅広いニーズに応えられるよう、保育士、理学療法士、看護師などが連携して取り組む。
- ・一人ひとりの、ニーズにあわせた支援を行う。

目 標

- ・一人ひとりの状態に合わせてながら、快適な時間を送れるよう配慮する。

[報告事項]

- ・児童の特性に応じて、製作活動、音楽活動、スポーツ、ゲーム、玩具等を使用した感覚遊び、装飾物等の製作活動、散歩等の活動を実施した。活動がマンネリ化しないように、内容を試行錯誤して、様々な取り組みを行った結果、楽しみを期待する児童や保護者が増えた。
- ・誕生会を毎月開催し、誕生日カードを作成し贈呈した。
- ・終日利用の際には、児童の状態に合わせて横になる時間を随時取り、疲労を緩和すると共に体調管理に努めた。
- ・現在、医療的ケアが必要な児童が3割程度在籍しているので、家族、学校、医療機関と適切に連携し、安心・安全な対応に努めていきたい。

【直近5年間の利用者の推移】

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
1日あたり平均利用者数(名)	—	—	2.2	2.9	4.0
稼働日数(日)	—	—	128	259	257
利用者延べ人数(名)	—	—	279	740	1,030
事業収入(千円)	—	—	3,335	9,790	13,468
1人あたり利用単価(円)	—	—	11,953	13,230	13,076

【行事等実施報告】

月	行事内容	場 所
9月	ハピネス祭り	ハピネス浜野
10月	ハロウィン（仮装）	ねむの木広場
12月	クリスマス（ケーキ作り）	ねむの木広場
1月	書初め・福笑い	ねむの木広場
2月	バレンタインデー（チョコ作り）	ねむの木広場
3月	進級・卒業祝い	ねむの木広場
＊月間活動：誕生会 ＊週間活動：個々の状況にあわせた活動提供 （製作活動、音楽活動、スポーツ、ゲーム、散歩など）		

【ヒヤリハット・事故報告】

内容	事故	ヒヤリハット
スプーン返却忘れ	1件	0件
合計	1件	0件